別表 1

令和 7 年度 海陽町水質・底質調査業務仕様書

1. 調査期日

水質調査

令和 7 年 8 月、令和 8 年 1 月の大潮時の 2 回（天候により調査月変更あり）

底質調査

令和 7 年 8 月の大潮時の 1 回（天候により調査月変更あり）

2. 調査地点

○海南地区

- (1) ピクニック公園前
- (2) 善蔵寺川

○海部地区

- (3) オンダン農業協同組合
- (4) 江川

○宍喰地区

- (5) 古目
- (6) 久保
- (7) 尾崎

3. 調査項目及び検体数

(1) 水 質

1	水温	(°C)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
2	透視度	(度)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
3	pH	(-)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
4	DO	(mg／l)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
5	BOD	(mg／l)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
6	COD	(mg／l)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
7	SS	(mg／l)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
8	油分等	(mg／l)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
9	大腸菌数	(CFU/100ml)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体
10	大腸菌群数	(個／ml)	7 地点×1 回／1 地点×2 期= 1 4 検体

1 1	T-P	(mg/l)	7地点×1回/1地点×2期=14検体
1 2	T-N	(mg/l)	7地点×1回/1地点×2期=14検体
1 3	塩化物イオン	(mg/l)	7地点×1回/1地点×2期=14検体
1 4	有機磷	(mg/l)	7地点×1回/1地点×2期=14検体
1 5	総水銀	(mg/l)	1地点×1回×2期=2検体

(2) 底 質

1	泥温	(℃)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
2	泥色	(-)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
3	熱灼減量	(%)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
4	COD	(mg/g)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
5	硫化物	(mg/g)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
6	T-P	(mg/g)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
7	T-N	(mg/g)	7地点×1回/1地点×1期=7検体
8	油分	(mg/g)	7地点×1回/1地点×1期=7検体

4. 試料の採取

「国土交通省河川砂防技術基準 調査編」に基づく方法で採取する。

注：感潮域は落潮時に採取する。

5. 分析方法

水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年・環境庁告示第59号）及び、底質調査方法（平成24年・環水大水発第120725002号）に準拠して行う。

1. 報告書 2部 提出

分析方法

水 質

項 目	分析方法
水素イオン (pH)	環告第59号 JIS K 0102 12.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	環告第59号 JIS K 0102 21及び32.1
科学的酸素要求量 (COD)	環告第59号 JIS K 0102 17
浮遊物質 (SS)	環告第59号 付表9
n-ヘキサン抽出物質 (n-Hex)	環告第64号 付表4
大腸菌数(CFU/100mL) (E-Coli)	環告第59号 付表10
大腸菌群数(個/cm ³) (E-Coli)	厚・建令第1号 別表1
溶存酸素量 (DO)	環告第59号 JIS K 0102 32.1
全磷 (T-P)	環告第59号 JIS K 0102 46.3.1
全窒素 (T-N)	環告第59号 JIS K 0102 45.2
塩化物イオン (Cl ⁻)	J I S K 0 1 0 2 3 5 . 1
有機磷 (O-P)	環告第64号 付表1
総水銀 (T-Hg)	環告第59号 付表1

底 質

項 目	分析方法
熱灼減量	(H24) 底質調査方法 II.4.2
化学的酸素要求量 (COD)	(H24) 底質調査方法 II.4.7
硫化物 (S)	(H24) 底質調査方法 II.4.6
全磷 (T-P)	(H24) 底質調査方法 II.4.9.1
全窒素 (T-N)	(H24) 底質調査方法 II.4.8.1
n-ヘキサリン抽出物質 (n-Hex)	(H24) 底質調査方法 II.4.13.1
含水率 (wet%)	(H24) 底質調査方法 II.4.1